

「有機農業」で地球も私たちが 元気に！有機農家学習会

12月17日 第9地域委員会

商品部・本間職員と吉澤職員による有機農業についてのオンライン講座を開催。東都栽培区分表示「東都みのり」や「有機」「無農薬」の違いについて、また産直有機栽培農家「北海道有機農業協同組合」「グッドファーム」「JAやさと」「福岡自然農園」など産地についても学習しました。

東都生協の農産物は「いつ」「どこで」「誰が」「どのように」作ったかが明確で、市販品とは安心感が違うことを改めて実感。今後も商品の安全性を守るために、生産者・職員・組合員一丸となって積極的に取り組み続ける生協でありたいと思いました。

プロから学ぶ お掃除テクニック

12月14日 鶴川ブロック委員会



さつと一拭き、あらふしぎ!

アズマ工業(株)から太田駿吾さんを講師に招き、簡単にできるお掃除学習会を開催。掃除のコツは、まず物を片付けること。そのためには物を減らし(頭が痛い)、高い所から低い所への順序でスタート…。基本的なことなのに妙に納得してしまいます。実際に洗剤やクロスを使っただけの掃除法には歓声があがりました。年末の大掃除も大切ですが、普段の手入れでいかに掃除がラクになるかがよく分かりました。参加者は「みんな困っているところは同じなんだ」と気持ちも洗われ、お掃除上手になれたようです。



講師の山本さん

世界中の子どもを笑顔に！ ユニセフ親子学習会

12月12日 第7地域委員会

5歳までに命を落としてしまう子どもは世界に年間530万人! 安全な水を使えない環境が大きな要因です。

「水と衛生」について、神奈川県ユニセフ協会・山本陽子さんに学びました。1日のほとんどを水汲みに費やす13歳の少女や、厳しい暮らしを強いられている子どもたちの現実を知り、また、世界をより良くするために自分ができる行動ミッションを3つ決めました。「将来ユニセフのような活動に参加したいです」との感想がうれしい収穫でした。



小さくても自分でできることを続けていくことが、みんなの笑顔につながります

「うわー、重い!!」水汲み体験する参加者(小6)。水の入ったカマは40kg以上



理事会報告 (抜粋)

〔審議事項〕
●2021年度第8回定例理事会(2021年12月16日開催)
●業務組織機構の大綱確認の件
●2022年度商品事業に関する委員会等活動計画の件
●2022年度保育/委員会設置の件
●組合員活動委員会報告
●商品活動関連報告ほか

〔報告事項〕
●2021年度第9回定例理事会(2022年1月20日開催)
〔審議事項〕
●「私たちの東都生協」第一次議案書確認の件
●2022年2月2日利用感謝企画の実施とその費用支出の件
●全国制度「生協役員賠償責任保険」の加入申込の件
〔報告事項〕
●組合員活動委員会報告
●商品活動関連報告
●東都生協の新たな遺伝子組換え表示基準制定の件
●常任理事会決議事項報告ほか

今後の理事会日程(予定)
3月17日(木)、4月7日(木)、4月21日(木)

12月のわたしたち

2021年12月20日現在 ※ []内は前年比		
組合員数	257,930人	[102.9%]
加入	5,901人	[34.1%]
脱退	6,858人	[103.4%]
総事業高	27,505,750千円	[96.9%]
共同購入事業	26,447,146千円	
弁当配食事業	271,507千円	
生活文化事業	134,222千円	
生活支援事業	63,547千円	
その他事業	589,328千円	
出資金	6,657,448千円	[100.7%]
1人あたりの出資金	25,799円	[96.9%]
1人あたりの利用高	6,164円	[96.0%]

東都生協NO₂測定濃度分布図(2021年12月)

2021年12月2日～12月3日に測定したNO₂(二酸化窒素)の測定結果

東都生協は「身近な所の空気を実際に測り、自分たちが確かめ、きれいな空気を取り戻すにはどうすれば良いか?」を考えていただくことを目的に、1988年からNO₂(二酸化窒素)測定活動を実施し、測定結果を「大気汚染測定運動東京連絡会」※に提供しています。この連絡会では生協の他、さまざまな団体から集めた測定結果を基に、大気汚染の改善を求めて運動を展開。毎回の地道な測定活動の積み重ねが大きな運動を支えています。

1.測定日の気象状況

- ①測定日時 2021年12月2日(木)午後6時～12月3日(金)午後6時 ※前後2時間を有効とする
- ②天候 12月2日(晴)平均風速:2.6m/秒 12月3日(晴)平均風速:2.1m/秒

2.測定規模

- ①参加人数 : 241人
- ②カプセル配付数: 265個
- ③カプセルの返却数と回収率: 239個 (90.1%)
- ④有効とした測定数と回収率: 182個 (68.6%)

3.測定結果

今回測定したNO₂(二酸化窒素)の全体平均濃度は、0.024 ppmでした。過去5年間に測定した12月の平均濃度(0.023ppm)よりわずかに高い結果です。都内の大気汚染常設監視測定局が測定したNO₂平均濃度は、道路沿いが0.030ppm、住宅地は0.025ppmでした。
*なお、環境省が定めたNO₂の基準値は「0.04～0.06ppmのゾーン、またはそれ以下であること」とされています。

大気汚染測定運動東京連絡会

大気汚染測定運動に参加する各地域実行委員や団体の自主的な活動を基盤とする連絡会です。きれいな空気を取り戻し、健康と環境を守り、大気汚染による健康被害を防ぐことを目的に活動を進めています。東京連絡会全体で取りまとめた測定結果は、東京都や環境省に報告され、有害物質の排出抑制を進めるための貴重なデータとして活用されています。

2022年度NO₂(二酸化窒素)の 測定者募集

普段生活している場所の、
空気の汚れを測ってみませんか?



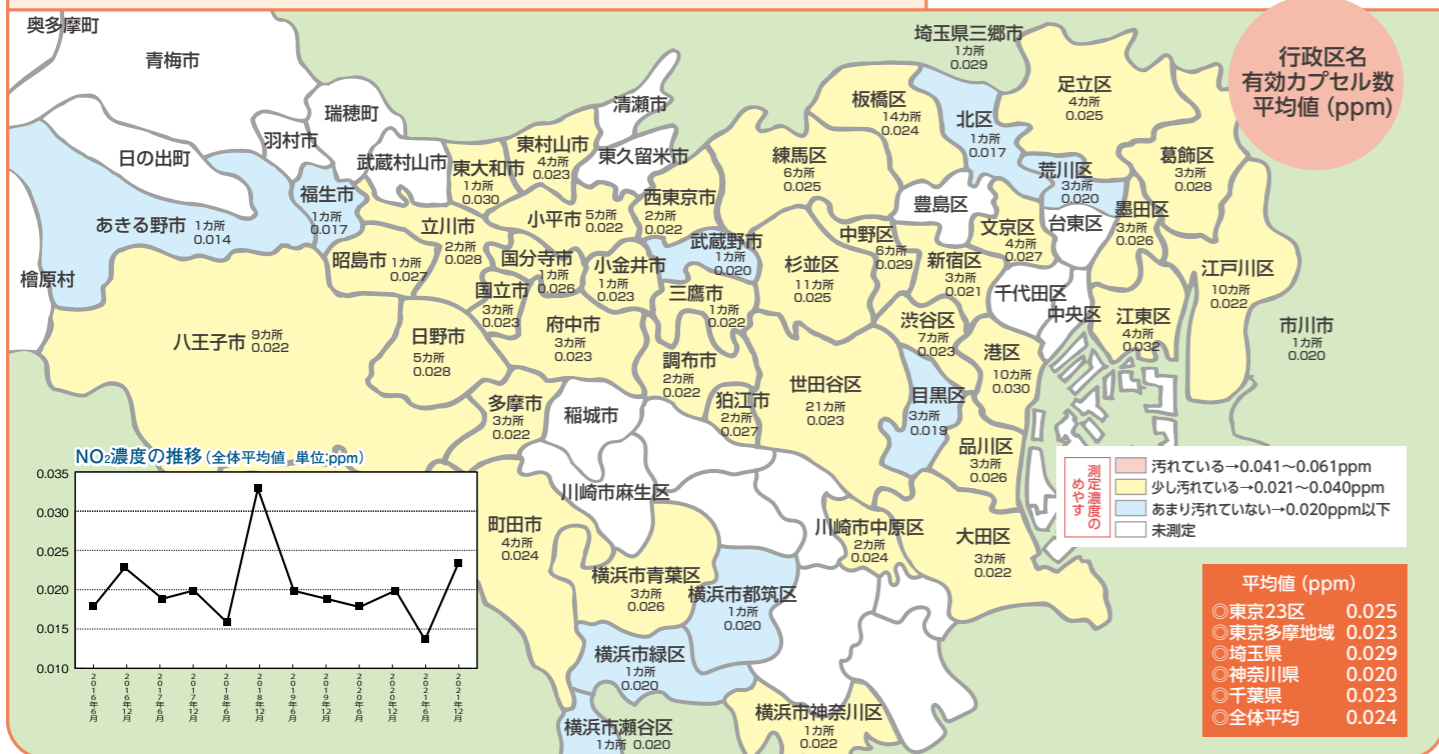
- 測定カプセルは、高さ4.5cm、直径1cm程度の大きさです。
- カプセルのふたを取り、逆にして測定場所にテープなどで貼り付けて24時間測定します。

参加費用は無料です。年に2回(6月と12月)同じ場所で測定できる方を募集します。

〔2022年度の測定日時〕

- 1回目:6月2日(木)午後6時～6月3日(金)午後6時(24時間)
- 2回目:12月1日(木)午後6時～12月2日(金)午後6時(24時間)

※申込方法などの詳細は、商品案内と一緒に配付される組合員活動情報紙「ウォ」362号(4月18日週配付予定)をご覧ください。



取材に行ってきました!

「稲城くらしフェスタ2021」

晴天の11月27日、いなぎブロック委員会はJR稲城長沼駅前広場「稲城くらしフェスタ2021」に出展しました。事前のチラシ配布効果で、ブースには150人以上が来訪。東都生協PR、夕食宅配・共済の紹介をはじめ風船のプレゼントも好評で、大行列ができました。



他の地域活動の取材依頼もお待ちしています!!

Pick up!

2021年度に新しく活動を始めた一と会

「商品お試し会」第3地域

「ブロック委員会が解散したけど、何か活動したい!という3人で立ち上げた一と会です。メンバーのお薦めの商品や気になった商品を試し、自分たちの言葉で良さを伝え、また学習会の参加者とも情報共有をしています。試食では三人三様の味覚や感性の違いも分かってく面白く、グループラインで感想を伝え合うのも楽しい時間です。活動を通して商品の素材や表示への関心が高まり、商品案内も熱心に見るようになりました。一と会は、地域にこだわらず興味や考えが近い仲間間で気軽に活動できるのがメリット。今後もコロナ禍の状況を見ながら対面やラインで情報交換し、「もう一品すすめ隊」(左の画像)に載ることを目指し、新年度も登録していきたい」と、同会の村松さん。

これまで試した商品は10品。アズマ工業(株)の「ふしぎクロス」は布地が厚手のため、熱いうちに拭くとレンジ周りの油污れが楽に取れ、水の吸い取りも良いのでシンクの水回り掃除にも最適!だそうです。



「もう一品すすめ隊」は、組合員活動団体や総代に配付している「組合員活動情報誌」に掲載